

「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 2 年 6 月 29 日

事業名称		予防事業費〔結核住民検診〕									
予算科目	款 4	衛生費	項 1	保健衛生費	目 2	予防費	事業番号	1			
事業の種別	☒ 市単独 ☐ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの（市の上乗せあり）										
担当部署・課長名	健康 課 予防 係					課長名	志村 明子				
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。							施策番号	2 - 1			
【施策名】 保健・医療の充実							総合計画書（ページ）	47			
この仕事の目的	① 誰（何）を対象にしていますか。				① ①の対象数や量を、あらわすもの（対象指標）						
	①18～65歳の市民 ②65歳以上の市民 →				①18～64歳人口（4月1日現在）平成28年度から ②65歳以上人口（4月1日現在）						
	② ①をどのような状態にしたいのですか。〔簡潔に〕				② ②の状態になった数・量をあらわすもの（成果指標）						
	検診受診者が結核感染の有無を知り、感染等異常が発見された場合は早期に対処することで、他者への感染を防ぎ、健康が保持される。 →				①18～64歳の有所見者数 ②65歳以上の有所見者数						
この仕事の目的	③ そのために何をしましたか。				③ ③をどのくらい行いましたか（活動指標）						
	・レントゲン車による、胸部レントゲン間接撮影4回/年 ・有所見者への受診（再検査）勧奨 →				①18～64歳の受診者数 ②65歳以上の受診者数						
指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標			
				平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績		令和2年度目標	令和3年度目標		
	対象指標	①の数値	①人 ②人	①49,491 ②22,350	①49,258 ②22,711	①48,949 ②22,902					
	成果指標	②の数値	①人 ②人	① 1 ② 10	① 3 ② 21	① 3 ② 36					
	目 標	②の目標値				44					
目標値設定の考え方 受診者300人を目標とし、有所見者出現率を過去3年の平均値9%と考えた。											
3 経費	事業費（実績）		円	388,800	404,790	448,124		※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費（再任用職員以外） 年間単価は、8,310,000 円 時間単価は、4,300 円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。 （退職手当組合負担金、共済費も含む。）			
	財源	一般財源	円	388,800	404,790	448,124					
		特定財源	円	0	0	0					
		（うち受益者負担）	円	0	0	0					
	人件費（目安）	所要人数（再任用以外）	時間	30.0	30.0	30.0					
		所要人数（再任用）	人	0.0	0.0	0.0					
		職員人件費（再任用以外）	円	126,000	126,000	129,000					
	職員人件費（再任用）	円	0	0	0						
事業費＋人件費		円	514,800	530,790	577,124						
4 環境変化等	（1）開始年度 平成11年度										
	（2）環境の変化 平成17年度より、結核受診対象者が65歳以上となった。平成28年度は、18歳から64歳を対象とする日程を1回設定し、29年度からは18歳以上に変更して、65歳以上も受けられるようにした。										

事業名称	予防事業費〔結核住民検診〕			
担当部署・課長名	健康	課	予防	係 課長名 志村 明子

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成31年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について			
	特に無し			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）			
	☐ 取り組んだ ☒ 取り組まない	取組手法：		
		【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
	(2)令和2年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点			
7 課題	(1)平成31年度に課題とした内容（「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題（3）を転記）			
	・イトーヨーカドーは、31年度についても会場の調整をしたが、直近にならないと会場確保ができず、検診車の確保がそれには対応できないことから、会場としては断念した。 ・1回あたりの受診者数を増やすため、周知方法を工夫する。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成31年度に実施したこと。			
	・平成30年度は試行的にイトーヨーカドー東和店を会場としたが、会場確保や周知の困難さから平成31年は断念したが、結果としては受診者数は微増となった。 ・清原市民センターの実施日を人が集まりやすい曜日に設定したことで、当会場での受診者が増加した。 ・中央図書館や保健センターの前に、張り紙等を行い、検診のPRを行った。			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）			
・1回あたり受診者数の増を図る。 ①受診者数の少ない18歳以上の日程を1回とし、乳幼児健診等の機会を利用し事業のPRを行う。 ②高齢者が出掛けやすい時期に実施する。				
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。） 施策名： 保健・医療の充実 ☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある（事業名： ）			
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など）			
	☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止 【取組内容】 ・チラシ配布等による周知の効果を高めるために年度の早い時期に作成し配布する。 ・高齢者が利用する施設など、高齢者の目に付く場所にポスターを掲示する。 ・検診の近い時期に、乳幼児健診の保護者にチラシを配布する。			
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 ・年間の乳幼児健診の日程把握。 ・PRチラシの作成。 ・関係機関へのチラシ配布依頼。			